

実務経験のある教員等による授業科目一覧 【整体セラピスト学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名	
整体セラピスト学1	2	蓑田のり子	
整体セラピスト学2	2	蓑田のり子	
整体療法学1	2	蓑田のり子	
整体療法学2	2	蓑田のり子	
スポーツ実践指導法1	2	森田 亜貴斗	
スポーツ実践指導法2	2	森田 亜貴斗	
ボディケア理論1	2	池長友美子	蓑田のり子
ボディケア理論2	2	池長友美子	蓑田のり子
テーピング実習1	1	眞田能彰	蓑田のり子
テーピング実習2	1	眞田能彰	蓑田のり子
ボディケア実習1	1	田中未史	蓑田のり子
ボディケア実習2	1	田中未史	蓑田のり子
ボディケア実習3	1	白井俊光	蓑田のり子
ボディケア実習4	1	蓑田のり子	
ボディケア実習5	1	蓑田のり子	
ボディケア実習6	1	蓑田のり子	
ボディケア実習7	1	田中未史	蓑田のり子
合 計	25		

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	解剖学1						担当者名	東 日向子、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等					
単位数	2				授業時間数	32				
授業概要	肩部・上肢・下肢の体表解剖学を触診しながら学び、皮膚と筋膜構造、体の各部位の骨と骨指標の触診を学ぶ。									
到達目標	①肩部・上肢・下肢の骨と筋肉の名称やイラストを描くことで理解を深める ②施術する際に左右差なども含め確認できるようになる									
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験の有無：無									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	ボディナビゲーション～触って分かる身体解剖～	Andrew Biel	医道の日本社
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	上肢帯・肩関節の筋：脊柱ないし胸郭と上肢帯を結ぶ筋肉、体幹と上腕を結ぶ筋肉、肩関節周囲の筋肉をイラストと筋肉名を書き出して理解する
2	上腕・前腕・手の筋：上腕二頭筋、円回内筋、長母指伸筋等のイラストと筋肉名を書き出して理解する
3	体幹の筋：体幹の規律に関する体幹の筋は大きく分けると背部筋群と腹部筋群になる、背部筋群と腹部筋群のイラストと筋肉名を書き出し理解する
4	下肢帯・大腿の筋：骨盤を固定する骨盤筋、内転筋、伸筋、屈筋に分けられる大腿の筋肉のイラストと筋肉名を書き出して理解する
5	下腿の筋：下腿の屈筋、足関節および足趾を動かす伸筋に分かれる下腿の筋、深さが第1層～4層まである足の固有筋のイラストと筋肉名を書き出し理解する
6	[肩部と上腕部]：肩部と上腕部の筋肉、補助筋、三角筋～僧帽筋筋肉・筋群および周囲構造についての理解を深める
7	[肩部と上腕部]：広背筋・大円筋・肩回旋筋群・肩回旋筋群の腱 肩部周囲の正しい触診と、運動による筋の収縮と骨の動きを学ぶ
8	[肩部と上腕部]：大・小菱形筋・肩甲挙筋・前鋸筋・大胸筋、肩甲骨の内側縁と胸椎棘突起間にある筋肉組織の異なる層を探索と大胸筋の探索について学ぶ
9	[肩部と上腕部]：小胸筋・鎖骨下筋・上腕二頭筋・烏口腕筋、他の構成体、小胸筋が呼吸に関係すること、表層と深層の探索のための体位を学ぶ
10	理解度確認試験：身体探索・肩部と上腕部についての理解度を確認する
11	[前腕部と手部]：体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・前腕部と手部の骨・他動運動による皮膚や筋膜の伸びと、指標となる骨を正しく触診することを学ぶ
12	[前腕部と手部]：上腕筋・腕橈骨筋・前腕から指の屈筋群と伸筋群・円回内筋・回外筋、主に手関節や指の運動をつかさどる前腕の筋肉について学ぶ
13	[前腕部と手部]：母指と手の筋肉・母指の長筋・母指の短筋・小指対立筋、手の掌側と背側の筋肉を浅層・中間層・深層に分けて学ぶ
14	[前腕部と手部]：他の構成体、鞘帯・神経・滑液包・手関節の屈筋支帯と伸筋支帯・手掌腱膜と、触診する際のもう一方の手の位置についても学ぶ
15	理解度確認試験・解答解説
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科							
	○			1年次		2年次		3年次			
授業科目名	解剖学2			担当者名		東 日向子、蓑田 のり子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	体幹・頭部・頸部の体表解剖学を学び、皮膚と筋膜構造、体の各部位の骨と骨指標の触診、靭帯や滑液包をはじめとする主要な関節構造を学ぶ。										
到達目標	①体幹・頭部・頸部の骨と筋肉の名称やイラストを描くことで理解を深める ②触診にて筋肉を確認し左右差などを説明できるようになる										
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験の有無：無										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	ボディナビゲーション～触って分かる身体解剖～	Andrew Biel	医道の日本社
参考図書	人体の全解剖図鑑	水嶋章陽	日本文芸社

回数	授業計画
1	【脊柱と胸郭】：体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・脊椎と胸郭の骨・組織の弾力性や厚さの違いを探索する、脊柱と胸郭の役割と骨の形状の違いを学ぶ
2	【脊柱と胸郭】：骨指標トレイン1～3 指標となる骨の正確な触診と骨の形状、体型により道標として活用することも学ぶ
3	【脊柱と胸郭】：骨指標トレイン4～6、脊柱と胸郭の筋肉、胸腰椎の横突起・肋骨・肋軟骨の触診、脊柱起立筋・横突棘筋・板状筋・後頭下筋群について学ぶ
4	【脊柱と胸郭】：後頸部の筋肉層、頸部と胸郭の横断面、補助筋・脊柱起立筋、脊柱筋の浅層・中間層・深層筋、横断面部による筋や内臓の位置を学ぶ
5	【脊柱と胸郭】：横突棘筋・頭板状筋・頸板状筋・後頭下筋群・腰方形筋・腹部の筋肉群脊柱の深層の筋肉の触知と作用、腹部の筋肉と呼吸との関係を学ぶ
6	【脊柱と胸郭】：横隔膜・肋間筋・横突間筋・棘間筋・その他の構造体、横隔膜が独特な形状と機能であること、靭帯・腹大動脈・関節・椎間板について学ぶ
7	理解度確認試験：脊柱と胸郭についての理解度を確認する
8	【頭部・頸部・顔面部】：体表解剖図・皮膚と筋膜の触診・骨と骨指標トレイン、頭皮の触診、頭蓋骨の繊維性の連結を学び指標となる骨を触診する
9	【頭部・頸部・顔面部】：骨指標トレイン1～3、後頭骨の筋付着部について学び、側頭骨・下顎骨・甲状軟骨・舌骨の形状を学び触診する
10	【頭部・頸部・顔面部】：頭部・頸部・顔面部の筋肉・補助筋・胸鎖乳突筋、頭部と顔面部の動きに関わる筋肉について学び触診する
11	【頭部・頸部・顔面部】：斜角筋・咬筋・側頭筋・舌骨上筋群・頸二腹筋 斜角筋の役割と腕神経叢、舌・下顎の運動にの関わる筋について学び触診する
12	【頭部・頸部・顔面部】：舌骨下筋群・広頸筋・後頭前頭筋・内側翼突筋・外側翼突筋・頸長筋、舌・下顎・の運動、表情に関わる筋について学び触診する
13	【頭部・頸部・顔面部】：顔の表情筋～頭蓋の筋肉 表情に関わる筋について学び触診する
14	【頭部・頸部・顔面部】：その他の構造体 触診可能な動脈・腺・神経の触診法を学ぶ
15	理解度確認試験・解答解説
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科					
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期
授業科目名	<b>生理学1</b>				担当者名	東 日向子、蓑田 のり子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
授業概要	身体を構成する細胞・遺伝子・組織・循環器・消化器系・呼吸器系・泌尿器のしくみとはたらきを学ぶ。また、関連する病気の原因・症状などについて学ぶ。 復習テストと単元テストで理解度を確認する。								
到達目標	①細胞・遺伝子・内臓系の働きや病気を理解する。 ②循環器系では血管のイラストを描き走行を理解する。								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・復習テスト・単元テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	実務経験の有無：無								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄/橋本尚詞	成美堂
参考図書			

回数	授業計画
1	細胞と遺伝子のしくみ：細胞の構造、DNAと遺伝子、染色体の構造、組織（上皮・筋・結合・神経） 細胞遺伝子の病気：ダウン症・エドワード症候群・筋ジストロフィー
2	復習小テスト① 循環器系：循環器の概要、血液の循環（肺循環・体循環）、体幹・上肢・下肢・内臓の循環ルート、動脈・静脈の構造と特徴を図を用いて理解する
3	復習小テスト② 循環器系：血液の成分（赤血球・白血球など）と働き、血液が凝固する仕組み、免疫に関わる細胞と免疫のしくみ、リバ管の役割、走行を図を用いて理解する
4	復習小テスト③ 循環器系：心臓の構造（心室・心房の位置関係）、刺激伝導系の構造、拍動のしくみと心周期、脾臓の働きやしくみの問題演習や図を用いて理解する
5	復習小テスト④ 循環器系の主な病気：悪性リバ腫・膠原病・血友病・白血病・貧血の原因と症状をについて、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
6	復習小テスト⑤、循環器系の主な病気：虚血性心疾患・心筋症・心不全・動脈瘤・不整脈・膠原病・血友病・白血病の原因と症状について学ぶ
7	単元テストI（循環系）：復習小テストより出題し理解度を確認する 消化器系：消化器の概要、消化管の基本構造と分布する血管、消化と吸収のしくみを図を用いて理解する
8	復習小テスト⑥ 消化器系：咽頭・喉頭の構造と働き、食物を口腔から食道・胃へと送る流れ、食道の基本構造と働き、歯の仕組みと構造を図を用いて理解する
9	復習テスト⑦ 消化器系：大腸・直腸・肛門の構造とはたらき、消化と吸収の仕組みと消化に必要な主な消化酵素、肝臓のしくみ、胆嚢と胆路を図を用いて理解する
10	復習テスト⑧ 消化器系の主な病気：食道癌・胃炎・胃潰瘍・十二指腸潰瘍・大腸癌・肝硬変の原因と症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
11	復習小テスト⑨ 呼吸器系：呼吸時の咽頭・喉頭のはたらき、気管の役目、胸壁・縦隔の構造と役割、肺・肺胞の構造とガス交換のしくみを図を用いて理解する
12	復習小テスト⑩ 呼吸器系の主な病気：副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎・気管支喘息・肺癌・自然気胸の原因と症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
13	単元テストII（呼吸器系）：復習小テストより出題し理解度を確認する。 泌尿器系：腎臓の構造と仕組み、腎臓から尿が体外に排出される流れを図を用いて理解する
14	復習小テスト⑪ 泌尿器系：糸球体で血液から水分を吸収し、尿生成を行うメカニズム、膀胱の構造やはたらき、排尿反射のしくみ、男女の尿道の違いを図を用いて理解する
15	単元テストIII（泌尿器系）：復習小テストより出題し理解度を確認する 総復習
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科							
	○			1年次		2年次		3年次			
授業科目名	生理学2			担当者名		東 日向子、蓑田 のり子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	脳のしくみとはたらき・神経系・内分泌系・生殖器・感覚器を学ぶ また、関連する病気の原因・症状などについて学ぶ 復習テストと単元テストで理解度を確認する										
到達目標	①脳・神経系、内臓系の働きや病気の原因・症状など理解する。 ②内分泌系では、各種ホルモンの働きや病気を理解する。										
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・復習テスト・単元テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	実務経験の有無：無										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄/橋本尚詞	成美堂
参考図書			

回数	授業計画
1	脳のしくみとはたらき：大脳の区分や構造としくみ、小脳と脳幹（間脳・中脳・橋・延髄）のはたらき、脳を保護する仕組みを図を用いて理解する
2	復習テスト① 脳のしくみとはたらき：大脳辺縁系の構成（偏桃体・海馬・帯状回）の構造や役割、大脳基底核のはたらき、仕組みについて図を用いて理解する
3	復習小テスト③ 脳のしくみとはたらき：神経細胞（ニューロン）の仕組みと構造、神経細胞における刺激の伝達、神経細胞・シナプスにおける刺激の伝達を理解する
4	復習小テスト④ 脳のしくみとはたらき：中枢神経と末梢神経の違いと役割、灰白質と白質の違い、脳幹（間脳・中脳・橋・延髄）の主な神経の配置流れを理解する
5	復習小テスト⑤ 脳のしくみとはたらき：脊髄神経の仕組みと構成、運動神経、知覚神経の伝導路、自律神経（交感神経・副交感神経）の働きと走行（伝導路）を理解する
6	復習小テスト⑥ 脳の主な病気：脳梗塞・クモ膜下出血・脳腫瘍・アルツハイマー型認知症の原因と症状について学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
7	単元テストI（脳のしくみとはたらき） 内分泌系：内分泌系の概要、全身の主な内分泌器官とホルモンのはたらき、内分泌腺と外分泌線の違いを図を用いて理解する
8	復習小テスト⑦ 内分泌系：ホルモン分泌のメカニズム（ホルモン生成）、分泌の調整・フィードバック（分泌が促進・抑制される）基準・目的・仕組みを理解する
9	復習小テスト⑧ 内分泌系の病気：糖尿病・甲状腺機能亢進症（バセドウ病）・クッシング病の原因や症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
10	復習小テスト⑨ 生殖器：女性生殖器と受精の仕組み（排卵から受精・着床まで）について、卵巣と子宮の性周期、胎児と胎盤の血液循環の仕組みを図を用いて理解する
11	復習小テスト⑩ 生殖器・泌尿器の主な病気：腎炎・尿路結石・前立腺癌・乳癌・慢性腎臓病・急性腎炎の原因や症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
12	復習小テスト⑪ 感覚器：皮膚の構造（表皮・真皮・皮下組織）や感覚（触覚・痛覚）受容器、付属腺について、眼の構造ものが見える仕組みについて理解する
13	復習小テスト⑫ 感覚器：耳の構造（外耳・中耳・内耳）、音が伝わる仕組みや平衡感覚、鼻の構造（鼻腔・副鼻腔）、においを感じる仕組み、味覚の仕組みを理解する
14	復習テスト⑬ 感覚器の主な病気：アトピー性皮膚炎、白内障、緑内障、メニール病、知覚障害の原因や症状について、学習してきた内容の復習を進めながら学ぶ
15	単元テストII（内分泌・生殖器・感覚器）：復習小テストより出題し理解度を確認する 総復習
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	一般臨床医学1						担当者名	池長 友美子、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	32				
授業概要	ハンドマッサージ、リフレクソロジー（足の反射療法）、リンパドレナージュ（下肢）・眼精疲労＆ヘッドケア、骨盤矯正の手技の習得と、接遇について学ぶ また学園祭等のサロンシミュレーションで、社会人基礎力・セラピストとしての心構え・接客対応・店舗運営に関するチームビルディングを実践して学ぶ									
到達目標	①ハンドマッサージ、リフレクソロジー、リンパドレナージュ（下肢）・眼精疲労&ヘッドケア、骨盤矯正の時間内での施術の習得 ②細部にわたる心配りや接遇を習得し、サロンシミュレーションにて実践で経験を積む									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	実務経験の有無：無									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授業計画
1	ハンドマッサージ<実技>実技の準備 コットンによる洗浄方法、片付け等の注意点を学ぶ、左側の練習
2	ハンドマッサージ <実技>時間計測20分(挨拶～お見送りまで)
3	リフレクソロジー <実技・左右>左足同様にオイル塗布～足裏までの手技を学ぶ 併せて足趾・足関節まわり～軽擦まで学ぶ
4	リフレクソロジー <実技>施術の前後の効果体験しあわいフィードバックすることでスキルアップを目指す
5	リフレクソロジー <実技・左右>時間計測20分、フィードバック
6	リフレクソロジー <確認テスト実施>反射区の理解、手順の習得確認
7	リンパドレナージュ（脚）<実技>実技の準備 コットンによる洗浄方法、片付け等の注意点を学ぶ 施術する際の立ち位置・姿勢や軽擦・足裏のツボを学ぶ
8	リンパドレナージュ（脚）<実技>時間計測20分、施術の前後の効果体験しあわいフィードバックすることでスキルアップを目指す
9	眼精疲労マッサージ <実技（仰臥位）>ベッドメイク、頸部・フェイスライン顔面のツボ（16カ所）へのアプローチを学ぶ
10	ヘッドケア <実技（仰臥位）> 施術の時間計測30分、継続した次回の施術に繋がる提案と伝え方を学ぶ
11	眼精疲労&ヘッドケア <実技（仰臥位）>接客対応・誘導・施術の時間計測20分、継続した次回の施術に繋がる提案と伝え方を学ぶ
12	骨盤矯正 <実技>姿勢8ポイントチェックについて学び、ペアでチェックする
13	骨盤矯正 <実技>側臥位にて股関節矯正ストレッチ、ウエストくびれ手法を学ぶ
14	骨盤矯正 <実技>手順の確認（姿勢8ポイントチェック⇒腹臥位⇒側臥位⇒仰臥位）
15	骨盤矯正 <実技>手順の習得確認・時間計測30分、期末試験対策
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科					
	○			1年次		2年次		3年次	
授業科目名	一般臨床医学2			担当者名		池長 友美子、蓑田 のり子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
							32		
授業概要	猫背矯正・小顎矯正・腸セラピー・頭蓋骨矯正の手技を修得する。 また、カウンセリングやクロージングを学び、サロンシミュレーションにおいて実践し経験を積む。								
到達目標	①猫背矯正・小顎矯正・腸セラピー・頭蓋骨矯正では左右差などを確認と理解し時間内での施術の習得 ②カウンセリング・クロージングでは接遇や対応力を身につける								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	実務経験の有無：無								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる〔3級〕	山本珠美	BABジャパン

回数	授業計画
1	猫背矯正 <実技>（腹臥位）上背部の施術、（側臥位）肩関節周囲の施術を学ぶ
2	猫背矯正<実技>腹臥位⇒側臥位⇒仰臥位の施術の復習、ペアを変えながら施術時間（15分）を意識した繰り返しの練習を行う フィードバックにて改善点を把握する
3	猫背矯正<実技>時間計測15分：猫背チェック法と一連の施術と、スマートフォンアプリによる歪み改善チェックを活用
4	猫背矯正<実技>時間計測15分、フィードバック
5	小顎矯正<実技>歪みを判断する：①座位と仰臥位時の開口時と閉口時の写真を撮る ②実際に触り、さゆうのバランスを見る
6	小顎矯正<実技>頸部・顎周囲・側頭筋のほぐし方、頬骨・顎への持続圧の練習 施術の前後の顎関節の開き・頬骨の高さ・顎幅を比較する
7	小顎矯正<実技>カウンセリング・写真撮影・施術・施術後の比較まで時間計測（20分）を行う フィードバックにて改善点を把握する 小テスト：理解度の確認を行う
8	腸セラピー<実技>カウンセリングとリラックスしてもらう方法を学ぶ 腹部（横隔膜下・小腸・大腸）の圧迫、腰部の施術を学ぶ
9	腸セラピー<実技>時間計測（15分）をし、フィードバックにて改善点を把握する
10	頭蓋骨矯正<実技>施術の前後の比較のポイントを学ぶ
11	頭蓋骨矯正<実技>肩部・頸部・頭部施術と、施術前後の比較の実践とその効果を体感する
12	頭蓋骨矯正<実技>小テスト：理解度の確認を行う
13	<実技総復習>来店⇒カウンセリング⇒施術⇒クロージングまでの実践を積む擬似トレーニングを行う
14	<実技総復習>眼精疲労＆ヘッドケア、猫背矯正、骨盤矯正
15	期末試験対策：これまでに習得した施術の確認
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校						
	○			令和 6年度 整体セラピスト学科						
授業科目名	<b>保健体育理論1</b>				担当者名	得本 啓次 (実務経験無し)				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	
						32				
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。									
到達目標	①日本の生涯スポーツの現状を理解し説明できる。 ②児童期、高齢期の運動指導の重要性が理解でき指導できる。 ④生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格を取得する。									
成績評価	レポート30%, 試験70%									
その他	実務経験の有無：無									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園

回数	授業計画
1	トレーニング法 イメージトレーニングの基礎知識とマインドセット
2	トレーニング法 イメージ結合法の理解と実践
3	トレーニング法 イメージトレーニングの実践、発表
4	指導法 トレーニング指導法理論、トレーニング方法の理解
5	スポーツ心理学 カウンセリング、人間の心身発達理論
6	スポーツ心理学 コミュニケーションスキル種類を理解し、方法論を学び指導に繋げる
7	スポーツマネジメント □ チームマネジメント、マーケティング戦略を理解し健康社会の貢献
8	スポーツマネジメント チームマネジメント、マーケティング戦略を理解し健康社会の貢献
9	解剖生理学 解剖学、生理学の概要、骨の組織構造
10	解剖生理学 筋肉の構造とはたらき、筋収縮のメカニズム
11	解剖生理学/運動指導 子どもの身体の特徴と子どもの運動指導
12	解剖生理学/運動指導 高齢者の身体の特徴と高齢者の運動指導
13	健康科学 日常生活での運動の重要性や姿勢の大切さ
14	生涯スポーツ□ 日常生活で取り組める運動を学び実践
15	関連法規 □ 生涯スポーツトレーナーに関わる法律や関連する法律、資格試験対策
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	<b>保健体育理論2</b>						担当者名	<b>得本 啓次</b>		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等					
単位数	2				授業時間数	32				
授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これから健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。									
到達目標	①日本の生涯スポーツの現状を把握する。②様々な生涯スポーツ、生涯運動を理解し実施できる。③健康寿命の延伸のための知識を理解する。④生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格を取得する。									
成績評価	レポート30%, 試験70%									
その他	得本 啓次（実務経験無し）									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版 生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本 車いす フィットネストレーナー教本 ティーボール	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園 体育教

回数	授業計画
1	スポーツ医学□ パーソナルストレッチ理論
2	スポーツ医学□ パーソナルストレッチ実践
3	スポーツ心理学□ ガイダンス、より良い人間関係を築くための心理学
4	指導法 □ トレーニング指導法実施、グループワーク
5	運動指導 □ 高齢者の運動指導方法の特性と留意点
6	スポーツ医学□ 筋膜リリースと疲労回復
7	スポーツ医学□ 筋膜リリースのセルフマッサージ
8	障がいスポーツ□ 障がいスポーツの歴史、車いすの種類と仕組み
9	障がいスポーツ□ 障がい者のトレーニング適応と実技指導
10	障がいスポーツ□ 自走式車いす実乗体験
11	運動指導□ スポーツコンプライアンス概論
12	運動指導□ ティーボール概論、必要性、魅力
13	運動指導 □ ティーボール ルール・審判方法・運営方法・指導法
14	運動指導 □ ティーボール 捕る投げる打つの基礎動作
15	栄養学 スポーツ栄養学三大栄養素と五大栄養素
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	<b>整体セラピスト学1</b>						担当者名 蓑田 のり子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等					
単位数	2				授業時間数	32				
授業概要	「店舗づくりのおもしろさと難しさ」を体験する。選択理論を基礎理論とし、より効果的に人生をコントロールするための実践授業。職場で起こりえる様々な課題をどの様に解決していくか、疑問や不安に対しサロンシミュレーションで実践し学ぶ									
到達目標	①個人とチームの目標・目的を明確にする ②社会人基礎力を身につける									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	社会人基礎力を身につける「人とつくる未来」		
参考図書	選択理論心理学	W・グラッサー	アーティメント出版

回数	授業計画
1	オリエンテーション 設備、準備・片付け、清掃、身だしなみ、実技授業、校外における実践について
2	整体セラピストとして① 傾聴力の向上 自己紹介で、将来の夢や目的・目標を共有する
3	整体セラピストとして② ワールドカフェ、ハートビーイング 施術を受ける側から施術する側になるにあたり、クライアントの心情などを考え共有
4	【プロフェッショナルとしての意識を高める】課題や願望を明確にする マイゴール設定のための準備として、自分を理解する 自分取扱説明書を作成
5	整体サロンを創る① 社会人基礎力：整体サロンで自分を成長させる。前に踏み出す力・考え方抜く力・チームで働く力について学ぶ
6	整体サロンを創る② チームビルディング：各リーダー選出・店舗名等を決定する。チーム毎に目標設定を行う。第1~4象限について学び優先順位を考える。
7	整体サロンを創る③ チームビルディング：課題を解決するPDCA、コントロールできることとできないことを学び理解する
8	整体サロンを創る④ チームビルディング：より良い人間関係を築くための7つの習慣について学び理解、目的・目標の共有、引継ぎノートの活用
9	学園祭における整体サロン運営を実践で学ぶ①
10	学園祭における整体サロン運営を実践で学ぶ②
11	学園祭における整体サロン運営を実践で学ぶ③ 振返り・フィードバック
12	魚町銀天街における整体サロンシミュレーション ①チームビルディング、目的・目標、役割を明確にする
13	魚町銀天街における整体サロンシミュレーション ②チーム毎の取り組み
14	魚町銀天街における整体サロンシミュレーション ③受付・施術練習
15	魚町銀天街における整体サロンシミュレーション ④ロールプレイング・フィードバック 期末筆記試験対策
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	<b>整体セラピスト学2</b>						担当者名 <b>蓑田 のり子</b>			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数		前期	後期	前期	後期
授業概要	授業で学んだチームビルディング・コミュニケーション・マネージメントや様々な手技を、サロンシミュレーションで実践する。 整体セラピスト検定試験に向け練習問題を解き、基礎知識の整理と応用力を身につける。									
到達目標	①学んだことをサロンシミュレーションで実践し、社会人気基礎力を身につける。 ②整体セラピスト検定3級筆記試験の合格を目指す									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel、監訳:阪本桂造	医道の日本社
参考図書	標準整形外科学 第13版	井樋栄二・吉川秀樹	医学書院

回数	授業計画
1	シンポジウム参加
2	シンポジウム参加
3	魚町銀天街におけるサロンシミュレーションの準備①
4	教育フォーラム参加
5	教育フォーラム参加
6	魚町銀天街におけるサロンシミュレーションの準備② リーダーは近隣店舗への事前挨拶回り
7	魚町銀天街におけるサロンシミュレーションの準備③
8	魚町銀天街におけるサロンシミュレーションの準備④
9	整体セラピスト検定事前学習① 脊柱の機能解剖の復習（脊柱の構造と機能、腰椎の機能解剖、）
10	整体セラピスト検定事前学習② 腰部の疾患について学ぶ（腰椎変性疾患、脊椎分離症とすべり症、腰椎椎間板ヘルニア、圧迫骨折、その他）
11	整体セラピスト検定学科試験対策① 練習問題①の実施・解答解説
12	整体セラピスト検定学科試験対策② 練習問題②の実施・解答解説
13	整体セラピスト検定学科試験対策③ 練習問題③の実施・解答解説
14	整体セラピスト検定学科試験対策④ 練習問題④の実施・解答解説
15	期末試験対策 練習問題の実施・解答解説
16	期末試験 解答・解説・まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	<b>整体療法学1</b>						担当者名 <b>蓑田 のり子</b>			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数		前期	後期	前期	後期
授業概要	臨床現場実習では、セラピストとしての心構えや接遇、個人情報保護法についても学び臨床現場実習では、実習中の行動言動に責任を持ちプロの仕事を現場で見て傾聴し学ぶ。									
到達目標	現場実習や実践の経験を積み、将来に向け店舗開業をイメージし、コンセプトやメニュー考案も含め、接客・症状把握・施術までの臨床思考を構築することを目標とする。									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	整体セラピストになる[3級]	山本珠美	BABジャパン
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授業計画
1	セラピスト自身の心の力学、整体セラピストの役割、3級と2級の違い、ホメオスタシスを維持するシステム、視床下部が感じる心地よい施術、注意点について学ぶ
2	カルテの記載と問診・基礎的問診・個人情報保護法について学ぶ
3	施術の基礎・基本手技とその効果・禁忌事項について学ぶ 接遇・インフォームドコンセント・コミュニケーションについて学ぶ
4	臨床現場実習1-① 事前学習:実習先の説明、実習での約束、誓約書の説明と署名
5	臨床現場実習1-② 接遇・インフォームドコンセントを見て学ぶ
6	臨床現場実習1-③ 施術・症状の説明などを見て学ぶ
7	臨床現場実習1-④ 施術・症状の説明などを見て学ぶ
8	総合練習①:個人の店舗として店舗名・メニュー構成・施術申込書を考案・POP作成
9	総合練習②:①のプレゼンテーション、臨床現場実習で学んだ症例報告
10	整体ブースを出店し実践で学ぶ①
11	整体ブースを出店し実践で学ぶ②
12	整体ブースを出店し実践で学ぶ③
13	整体ブースを出店し実践で学ぶ④
14	北九州マラソン2025におけるケアブースにて実践で学ぶ①
15	北九州マラソン2026におけるケアブースにて実践で学ぶ②
16	期末学科試験 解答・解説、まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	<b>整体療法学2</b>						担当者名 <b>蓑田 のり子</b>			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数		前期	後期	前期	後期
授業概要	肩、腰、膝など痛みに対して、必要な評価の選択と施術可能であるかの判断や改善のためのアドバイスを学ぶ。 臨床現場実習では店内環境・接遇・インフォームドコンセント・施術内容を見て学ぶ。また、プレゼンテーションにて共有する。									
到達目標	①現場実習や実践の経験から、様々な症状の把握とその施術ができる。 ②セルフケアなどのアドバイスができるようになる。									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	整体セラピストになる[3級]	山本珠美	BABジャパン
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授業計画
1	施術実技① 一般的腰痛症：腰部施術前に確認すべきこと、説明・自宅での腰痛アドバイスについて学ぶ <実技>腰部基本施術について学ぶ”
2	施術実技② 一般的腰痛症 <実技>腰部基本施術について学ぶ”
3	施術実技③ 肩こり症：肩部施術前に確認すべきこと、説明・自宅での肩こりアドバイスについて学ぶ <実技>腰部基本施術について学ぶ”
4	施術実技④ 肩こり症 <実技>肩部基本施術について学ぶ”
5	施術実技⑤ 膝関節症：膝部施術前に確認すべきこと、説明・自宅での膝痛アドバイスについて学ぶ <実技>腰部基本施術について学ぶ”
6	施術実技⑥ 膝関節症 <実技>膝部基本施術について学ぶ”
7	総合練習① 腰痛・肩こり・膝痛の基本施術
8	総合練習② 腰痛・肩こり・膝痛の基本施術
9	総合練習③ 挨拶・接客対応・施術・クロージングまでの時間計測
10	整体ブースを出店し実践で学ぶ①
11	整体ブースを出店し実践で学ぶ②
12	整体ブースを出店し実践で学ぶ③
13	整体ブースを出店し実践で学ぶ④ 振返り・フィードバック
14	北九州マラソン2025におけるケアブースにて実践で学ぶ①
15	北九州マラソン2026におけるケアブースにて実践で学ぶ② 振返り・フィードバック
16	期末学科試験 解答・解説、まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科							
	○			1年次		2年次		3年次			
授業科目名	スポーツ実践指導法1			担当者名		森田亜貴斗、中村恭輔					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	スポーツ指導者としての心構えや指導を行なう上で必要となる基礎的知識を学習し、変化する社会環境の中で、生涯スポーツから競技スポーツまで幅広いスポーツ実践現場で指導者として活躍できるようになるための基礎を養う。										
到達目標	スポーツ現場で指導者として活躍できるようになるための基礎としてコーチングやチーム力を高める方法を習得する。										
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・定期試験および追・再試験の結果で評価する										
その他	森田亜貴斗（大字において日本体育協会公認スポーツ指導者として勤務）、中村恭輔（美術経験無し）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	コミュニケーションとは 自分を知ってもらう自己紹介/伝える/考えを引き出す/社会人として必要なコミュニケーションとは
2	スポーツの意義と価値 なぜスポーツの意義と価値を考えなければならないか/社会の中におけるスポーツの価値
3	コーチングとは グッドプレーヤーを育てるグッドコーチ
4	コーチに求められる知識とスキル コーチング文脈/専門知識/対他者の知識/对自己の知識
5	スポーツの自治（ガバナンスとコンプライアンス） スポーツの自治/グッドガバナンスの確立/コンプライアンスとは
6	スポーツ組織のマネジメント スポーツ組織の持続可能性/目的のマネジメント
7	プロアスリートとは プロフェッショナルになるためには
8	プロアスリートのセカンドキャリア 夢と現実/周りからの見る目の変化
9	身体のしくみ(実技) 自身の身体をコントロールする
10	スポーツと心 スポーツ運動が心理面に与える影響/スポーツと心に関わる諸問題
11	チームワーク チームワークの概要/チームワークを高める方法
12	効果的な指導方法 視覚/言語/筋感覚指導方法の目的と方法
13	チームミーティング チームミーティング/役割を分担の理解と相互依存関係について
14	個人差に応じた指導 リーダーシップの要素/能力差/個人差の対応
15	まとめ 1
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
	○			令和 6年度 整体セラピスト学科					
授業科目名	<b>スポーツ実践指導法2</b>						担当者名	森田亜貴斗、中村恭輔	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期
授業概要	スポーツ指導者としての心構えや指導を行なう上で必要となる基礎的知識を学習し、変化する社会環境の中で、生涯スポーツから競技スポーツまで幅広いスポーツ実践現場で指導者として活躍できるようになるための基礎を養う。								
到達目標	スポーツ現場で指導者として活躍できるようになるための基礎として、スポーツ組織マネジメントやチームビルディングを習得する。								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	森田亜貴斗（大字において日本体育協会公認スポーツ指導者として勤務）、中村恭輔（美務経験無し）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	コミュニケーションスキルの向上 第一印象をよくするためには/聞き上手になるためには/盛り上がる話題を選ぶためには
2	スポーツの意義と価値 文化としてのスポーツ/スポーツの文化的特性
3	コーチに求められる役割 指導者が負う責任/スポーツ指導者が負う注意義務
4	プロの現場で求められること 選手とスタッフの違い/スタッフの役割分担
5	暴力、ハラスメントの根絶 暴力/ハラスメント
6	スポーツ組織のマネジメント スポーツ指導者に求められるマネジメント/スポーツ組織の特性
7	プロアスリートとは 結果と責任の確立
8	プロアスリートのセカンドキャリア 今後のアスリートと今やるべきこと
9	身体のしくみ(実技) 神経/聴覚/視覚のコントロール
10	イメージトレーニング イメージトレーニングの効果と方法
11	集中力の技法 集中力が乱れやすい原因/集中力の技法
12	メンタルマネジメントとストレス ストレスの概要/精神的ストレスとの対応方法
13	チームビルディング チームビルディングの概要と効果的なアプローチ
14	自己決定理論と目標 人間の欲求の段階や外発的動機づけの段階と目標の関係
15	まとめ 2
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	ボディケア理論1						担当者名	池長 友美子、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次	2年次	3年次	
単位数	2				授業時間数	32	前期	後期	前期	後期
授業概要	リフレクソロジー（足の反射療法）、リンパドレナージュ（下肢）・眼精疲労＆ヘッドケア、骨盤矯正の施術の必要性の理解とその効果を学び手技を習得する。 身体のあらゆる部位が反射投影され繋がっていることを学ぶ。 また校内サロンシミュレーションで社会人基礎力・セラピストとしての心構え・接客対応・店舗運営に関するチームビルディングを実践として学ぶ。									
到達目標	①施術に関連する反射区を理解し施術することができる ②細部にわたる心配りや接遇を習得し、サロンシミュレーションにて実践で経験を積む									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	池長 友美子（整体院において整体セラピストとして勤務）、蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる〔3級〕	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授業計画
1	校内サロンシミュレーションのフィードバック、次回に向けた心構えについて学ぶ リフレクソロジー <理論>由来や歴史・関係法規・禁忌事項・反射区・基本姿勢について学ぶ
2	リフレクソロジー <理論>反射区・働き・効果の資料にて反射投影される臓器の実際の位置関係と関連する病気・症状について足を用いて学ぶ
3	リフレクソロジー <実技・左右>左足同様にオイル塗布～足裏までの手技を学ぶ 併せて足趾・足関節まわり～軽擦まで学ぶ
4	リフレクソロジー <確認テスト実施①>反射区の理解、手順の習得確認
5	リンパドレナージュ <理論>歴史・リンパ液・リンパの流れ・お客様へのアドバイス・豆知識・注意が必要な場・リンパ節の名称と症状について学び理解する
6	リンパドレナージュ（脚）<実技>軽擦のロングストロークの際の立ち位置を確認する 下腿前面・大腿後面の手技を学び、両下肢の一連の流れを把握する
7	校内サロンシミュレーションにて自分を成長させる（社会人基礎力） 施術を施し「ありがとう」と言われる体験をする。合せて店舗運営を学ぶ
8	校内サロンシミュレーションの成果報告とフィードバック、改善点をふまえた施術の復習
9	眼精疲労＆ヘッドケア <理論>関係法規・禁忌事項・ツボ（16カ所）・身だしなみについて学ぶ
10	ヘッドケア <実技（仰臥位）>頭皮・頭部のツボへのアプローチを学ぶ
11	眼精疲労＆ヘッドケア <実技（仰臥位）>接客対応・誘導・手順の習得確認、時間計測20分
12	骨盤矯正 <理論>骨盤の構造・歪むことでおこる症状、骨盤の性差、産前産後の体の変化や様々な弊害についての学習・禁忌事項について学ぶ
13	骨盤矯正 <実技>腹臥位にて体幹・大腿部のストレッチ、骨盤・背骨のマニュピレーション、骨盤の歪みの調節を学ぶ
14	骨盤矯正 <実技>仰臥位にて足底揺らし、腸腰筋刺激、骨盤の圧迫を学ぶ
15	骨盤矯正 <実技>手順の習得確認・時間計測30分、期末試験対策
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科						
	○			1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	後期
授業科目名	<b>ボディケア理論2</b>						担当者名	池長 友美子、蓑田 のり子		
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等					
単位数	2				授業時間数	32				
授業概要	猫背矯正・小顎矯正・腸セラピー・頭蓋骨矯正の施術の必要性の理解とその効果を学び手技を修得する。 また、カウンセリングやクロージングを学び、サロンシミュレーションにおいて実践し経験を積む。									
到達目標	①施術部位の骨格の構造の理解と、左右差などの確認を視診・触診・動診にて判断できる ②カウンセリング・クロージングでは接遇や対応力を身につける									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	池長 友美子（整体院において整体セラピストとして勤務）、蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	六花スクールオリジナルテキスト	六花スクール	
参考図書	整体セラピストになる [3級]	山本珠美	B A B ジャパン

回数	授業計画
1	猫背矯正 <実技>（腹臥位）上背部の施術、（側臥位）肩関節周囲の施術を学ぶ
2	猫背矯正<実技>腹臥位⇒側臥位⇒仰臥位の施術の復習、ペアを変えながら施術時間（15分）を意識した繰り返しの練習を行う フィードバックにて改善点を把握する
3	猫背矯正<実技>時間計測15分：猫背チェック法と一連の施術と、スマートフォンアプリによる歪み改善チェックを活用
4	猫背矯正<実技>時間計測15分、フィードバック
5	小顎矯正<実技>歪みを判断する：①座位と仰臥位時の開口時と閉口時の写真を撮る ②実際に触り、さゆうのバランスを見る
6	小顎矯正<実技>頸部・頸周囲・側頭筋のほぐし方、頬骨・頸への持続圧の練習 施術の前後の頸関節の開き・頬骨の高さ・顔幅を比較する
7	小顎矯正<実技>カウンセリング・写真撮影・施術・施術後の比較まで時間計測（20分）を行う フィードバックにて改善点を把握する 小テスト：理解度の確認を行う
8	腸セラピー<実技>カウンセリングとリラックスしてもらう方法を学ぶ 腹部（横隔膜下・小腸・大腸）の圧迫、腰部の施術を学ぶ
9	腸セラピー<実技>時間計測（15分）をし、フィードバックにて改善点を把握する
10	頭蓋骨矯正<実技>施術の前後の比較のポイントを学ぶ
11	頭蓋骨矯正<実技>肩部・頸部・頭部施術と、施術前後の比較の実践とその効果を体感する
12	頭蓋骨矯正<実技>小テスト：理解度の確認を行う
13	<実技総復習>来店⇒カウンセリング⇒施術⇒クロージングまでの実践を積む擬似トレーニングを行う
14	<実技総復習>眼精疲労＆ヘッドケア、猫背矯正、骨盤矯正
15	期末試験対策：これまでに習得した施術の確認
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和 6年度 整体セラピスト学科					
			○						
授業科目名	テープニング実習1				担当者名	眞田 能彰、蓑田 のり子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数				1	授業時間数	前期 32	後期	前期	後期
授業概要	人体に比較的浅い場所へのアプローチから膜組織の乱れを調節し、筋膜を中心とした機能改善により、リンパ還流の調整、痛みの緩和、歪みの調整などを目的に行うキネシオテープニング療法の基礎を習得する								
到達目標	①キネシオテープの効果の理解 ②キネシオテープニングCKTTの資格取得								
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する								
その他	眞田 能彰（カイロプラクティック院にてカイロプラクターとして勤務）、蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	キネシオテープニングトレーナー養成講座ワークブック	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング
参考図書	キネシオテープニング 実技テキスト	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング

回数	授業計画
1	オリエンテーション キネシオテープニングの歴史・基礎:キネシオテープニング療法について
2	【特別講義】出水トレーナー スポーツトレーナーとは?
3	【特別講義】出水トレーナー コミュニケーション基礎
4	キネシオテープニング基礎 手首/肘の痛み/腱鞘炎:手首/肘X字/長母指伸筋、8部位貼布 三角筋/仙棘筋キネシオテープニング
5	キネシオテープニング基礎 下腿貼布 大腿四頭筋/大腿二頭筋、下腿・足関節貼布 腓骨筋/腓腹筋キネシオテープニング
6	キネシオテープニング基礎 膝・下腿・足関節テープニング 実技試験:大腿四頭筋/大腿二頭筋/腓骨筋/腓腹筋
7	キネシオテープニング部位別① スクリーニング実習 上半身のスクリーニングテスト:リンダーテスト2/頸椎伸展テスト/血管膨隆テスト/ライトテスト
8	キネシオテープニング部位別① スクリーニング実習 リンダーテスト2に対するテープニング:中僧帽筋/下僧帽筋/広背筋
9	キネシオテープニング部位別① スクリーニング実習 頸椎伸展テストに対するテープニング:前・中・後斜角筋/頭・頸板状筋
10	キネシオテープニング部位別① スクリーニング実習 血管膨隆テスト・ライトテストに対するテープニング:大菱形筋・棘上筋/棘下筋/上腕二頭筋/上腕三頭筋
11	キネシオテープニング部位別② スクリーニング実習 下半身のスクリーニングテスト:リンダーテスト2/腹圧テスト/パトリックテスト/SLRテスト
12	キネシオテープニング部位別② スクリーニング実習 リンダーテスト2・SLRテストに対するテープニング:大腰筋/仙棘筋・外内側広筋/前脛骨筋/腓腹筋
13	キネシオテープニング部位別② スクリーニング実習 パトリックテストに対するテープニング:縫工筋/下肢内転筋群/大殿筋/大腿筋膜張筋
14	キネシオテープニング部位別③ スクリーニング実習 スクリーニングテストからテープニング貼布までの実技試験
15	肩関節に対するテープニング:三角筋/大小円筋/鳥口腕筋 手関節に対するテープニング:橈尺側手根屈伸筋、肘関節に対するテープニング:上腕二頭筋/上腕三頭筋/回外筋
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校					
	令和 6年度 整体セラピスト学科									
授業科目名	テープニング実習2				担当者名	眞田 能彰、蓑田 のり子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	
授業概要	効果が出る貼り方と理由(=見立て)を8つのスクリーニングテストで身体の状態を把握し、関節可動域計測、筋肉テストで把握し、適切な長さ・形のキネシオテープの貼り方を習得する。また、病態別の特殊テープではテープに一定の張力をかけて貼る特徴的な方法により、人体各部の皮膚や筋膜・腱などの軟部組織の捻じれや歪みを調整することを習得する。									
到達目標	①的確な評価とキネシオテープの貼布ができる ②キネシオテープニングCKTP資格取得									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	眞田 能彰(カイロプラクティック院にてカイロプラクターとして勤務)、蓑田 のり子(整体院において整体セラピストとして勤務)									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	キネシオテープニング 実技テキスト	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング
参考図書	キネシオテープニング部位別筋肉別ワークブック、特殊テープワークブック	一般社団法人キネシオテーピング協会	キネシオテーピング

回数	授業計画
1	キネシオテープニング 部位別③ 実習 手指の関節に対するテープニング: 浅指・深指屈筋/長母指屈筋/長母指外転筋
2	キネシオテープニング 部位別④ 実習 頸椎に対するテープニング: 肩甲挙筋/頸最長筋/頭最長筋
3	キネシオテープニング 部位別④ 実習 股関節に対するテープニング: 股骨筋/薄筋/下肢内転筋群
4	キネシオテープニング 部位別④ 実習 膝関節に対するテープニング: 大腿四頭筋/膝窩筋、足関節に対するテープニング: ヒラメ筋/腓骨筋/後脛骨筋
5	実技確認試験①
6	実技確認試験②
7	実技確認試験③
8	コンディショニング&コレクション特殊テープ① 機械的コレクション(I字型)/筋・筋膜保持コレクション/狭間コレクション
9	コンディショニング&コレクション特殊テープ② 鞘帯のコレクション(腸脛鞘帯)/腱のコレクション(アキレス腱)
10	コンディショニング&コレクション特殊テープ③ 機能的コレクション: 頸椎鞘帯(頸椎症)/肩鎖関節の傷害(烏口鎖骨鞘帯)
11	コンディショニング&コレクション特殊テープ④ 鞘帯のコレクション: 内側側副鞘帯損傷(肘の内側・外側側副鞘帯)、外側上顆炎(上腕三頭筋浅筋膜)
12	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑤ 上半身の傷害に対するテープニング: 尺骨神経痛/手指のPIP関節、後横隔膜(喘息)
13	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑥ 下半身の障害に対するテープニング: 仙椎(腰椎分離症・すべり症)、腰椎(腰椎椎間板ヘルニア)
14	コンディショニング&コレクション特殊テープ⑦ 下半身の障害に対するテープニング: 膝の外側側副鞘帯(腸脛鞘帯炎)、前十字鞘帯/膝蓋鞘帯(オスグットシュラッター)
15	期末筆記試験 解答解説
16	期末実技試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校					
	令和 6年度 整体セラピスト学科									
授業科目名	ボディケア実習1				担当者名	本 凱斗、田中 未史、蓑田 のり子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	
							32			
授業概要	子どもの特徴を理解し、現場で実際に使える指導方法や教育方法を学ぶ。 指導者に求められる、コミュニケーション力や基本的な知識、技術を理解する。子どもたちの成長過程に合わせたアプローチなどの応用力を身につける。 社会で役にたつマーケティングや営業のポイントを学ぶ。									
到達目標	子どもたちの成長過程に合わせたアプローチなどの応用力を身につける。									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	本 凱斗（実務経験無し）、田中 未史（整体院において整体セラピストとして勤務）、蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	【特別講義】出水・大歳トレーナー 足関節捻挫について①
2	グラッチャってなに？
3	親子運動会① イベント準備・運営を実践で学ぶ
4	親子運動会② イベント運営・サービスについて実践で学ぶ
5	Grachaの指導について 挨拶・礼儀、感謝の気持ちを子どもたちに身に付けてもらう
6	Grachaの指導について 総合運動の重要性、成長する環境づくり
7	Grachaの指導について 取り組む姿勢や前向きな考え方について
8	Grachaの指導について 自信を身に付けるために必要な事
9	Grachaの指導について オランダ体育から学ぶ楽しい運動と自主性
10	Grachaの指導について 子どもたちと関わる上で大切な事
11	【特別講義】大歳トレーナー— ランナーのケガについて
12	【【特別講義】大歳トレーナー— ランナーのケアについて大切なこと
13	【特別講義】大歳トレーナー— ランナーのホームケアの指導について
14	Grachaの指導について グラッチャについてまとめ 期末試験対策
15	【特別講義】大歳トレーナー— ランナーのケアとホームケアのまとめ
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校							
	令和 6年度 整体セラピスト学科											
授業科目名	ボディケア実習2					担当者名	田中 未史、本 凱斗、蓑田 のり子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次			
単位数			1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期			
						32			後期			
授業概要	運動の基礎、ニュースポーツの楽しさを体験し学びぶ。また、指導方法や練習メニューを考え、実践して身につけることを目標とする。											
到達目標	子どもたちの成長過程に合わせた指導方法や練習メニューを考え、実践して身につける											
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	田中 未史（整体院において整体セラピストとして勤務）、本 凱斗（実務経験無し）、蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	【特別講義】出水・大歳トレーナー 足関節捻挫などの外傷対応について
2	運動会競技種目(かけっこ、リレー、玉入れなど)について学ぶ
3	親子運動会① サービスについて現場の実践で学ぶ
4	親子運動会② サービスについて現場の実践で学ぶ
5	かけっこ指導(動きづくり、かけっこ、リレー)を体験しながら学ぶ
6	オランダ体育について 一人ひとりの発達や個性を大切にしながら自律と共生を学ぶ
7	縄跳び指導(短縄、大縄)を体験しながら学ぶ
8	『ニュースポーツ』の魅力・種類、実施方法について学ぶ (モルック)
9	『ニュースポーツ』の魅力・種類、実施方法について学ぶ (ドッヂビー、アルティメット)
10	『ニュースポーツ』の魅力・種類、実施方法について学ぶ (スポーツ鬼ごっこ)
11	【特別講義】大歳トレーナー <sup>一</sup> ランナーのケア 肩・その周囲編
12	特別講義】大歳トレーナー <sup>一</sup> ランナーのケア 股関節編
13	特別講義】大歳トレーナー <sup>一</sup> ランナーのケア 下腿編
14	『ニュースポーツ』の魅力・種類、実施方法について学ぶ (チームビルディング、風船バレー)
15	特別講義】大歳トレーナー <sup>一</sup> ランナーのケア 実技試験
16	期末試験 解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校							
	令和 6年度 整体セラピスト学科											
授業科目名	ボディケア実習3					担当者名	白井 俊光、蓑田 のり子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次			
単位数			1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32						
授業概要	背骨の歪みによって身体にどういう症状が起きるかを理解し、背骨の歪みに関して運動を通して調整し自分自身及び他者の身体の不具合を解消する											
到達目標	背骨コンディショニングのインストラクターとして指導できる											
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する											
その他	白井 俊光（整体院において整体セラピストとして勤務）、蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	背骨コンディショニング インストラクター教本	日野秀彦	学校法人国際学園
参考図書			

回数	授業計画
1	背骨コンディショニングとは、3要素、理論の説明 (P12~15) アライメント検査 (P44~46) 、腰痛体操(実技)について学び理解する
2	マインド、フィットネスの基礎理論【トレーニング3原理、トレーニング原則、筋トレの中長期プログラム】(P16~20)について学び理解する
3	トレーニング前の注意事項、アライメント検査、神経の痛点チェック、関節を緩める基本の体操（足まわし・上体たおし・坐骨神経ストレッチ・首ゆるめ）を実践しながら学ぶ
4	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨セルフ矯正法（片足かか足まわし・うつ伏せ足たおし・両足かか上体たおし・足かか上体たおし・肘伸ばし糸まき）を実践しながら学ぶ
5	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨セルフ矯正法（腸脛靭帯ストレッチ・大腿神経ストレッチ・坐骨神経ストレッチ椅子・腰椎ゆりかご・股関節ゆるめ）を実践しながら学ぶ
6	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨セルフ矯正法（膝ポソフ・膝内外・開脚膝たおし・脇はさみ足かか・おしりゆりかご・仰向け平泳ぎ）を実践しながら学ぶ
7	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨セルフ矯正法（星状神経ストレッチ・胸椎上部はめ・頸椎7番はめ・腰椎ゆりかご・股関節セルフ・頸椎セルフ・胸椎セルフ・肩ゆるめ）
8	アライメント検査、関節を緩める基本の体操と背骨セルフ矯正法（腕つかみ肩ひらき・指組み肩まわし・肩入れ・肘つき・肩ひらき・肘かか・手首反らし・指ストレッチを実践しながら学ぶ
9	アライメント検査、症状に合わせた運動指導、トレーニングサイクル、筋トレ（バックキック・バックランジ・デッドリフト・ニーリフト・タオルギヤザー）を実践しながら学ぶ
10	アライメント検査、症状に合わせた運動指導、筋トレ（アブダクション・アダクション・ローワーバック・アップライトローイング）を実践しながら学ぶ
11	アライメント検査、症状に合わせた運動指導、筋トレ（外旋ローイング・ワイドプッシュアップ・ショルダープレス・チンイン・ネックサイドベンド）を実践しながら学ぶ
12	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ①
13	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ②
14	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ③
15	運動指導法の実践（アライメント検査、ROM運動、セルフ矯正法、筋トレ、再検査）、運動指導前後の変化の確認 ④
16	期末試験 解答・解説、まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校					
	令和 6年度 整体セラピスト学科									
授業科目名	ボディケア実習4				担当者名	蓑田 のり子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	
						32				
授業概要	バランス整体の基本手技を学ぶ。 学園祭サロンシミュレーションに向けて、腹臥位から仰臥位の順で手技をマスターする併せて、整体セラピストとしての在り方・マナー・心配りなども身に付けていく									
到達目標	学園祭における整体ブースの運営・接客・施術を実践し、整体セラピストとしての経験を積む									
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する									
その他	蓑田 のり子（整体院において整体セラピストとして勤務）									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授業計画
1	専門用語を学び理解する 姿勢分析・動診それぞれの診方、記録方法を学ぶことで自身の体の歪みも知る
2	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ① 軽擦～背・腰・臀部へのアプローチ
3	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ② 前回までの復習と下肢後面・足底部へのアプローチ
4	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ③ 前回までの復習と肩甲骨・肩・頸部へのアプローチ
5	【特別講義】大歳トレーナー 自己分析と他者から見た自身の分析、トレーナー活動について
6	人間関係に必要な信頼関係の作り方① コミュニケーション力につける
7	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ④ 前回の復習と上肢・胸部へのアプローチ
8	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑤ 前回までの復習と肩・頸部へのアプローチ～軽擦
9	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑥ 全身施術（腹臥位・仰臥位）を通して学ぶ
10	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑦ 全身施術（腹臥位・仰臥位）20分計測
11	学園祭サロンシミュレーションに向けてバランス整体手技の基本を学ぶ⑧ 全身施術（腹臥位・仰臥位）20分計測
12	学園祭サロンシミュレーションの事前準備として、誘導の仕方・整体セラピストとしての在り方・マナー・心配りなどを学び、身につける
13	期末試験対策：バランス整体基本手技の技術の向上を目指す① 姿勢分析・動診の復習
14	期末試験対策：バランス整体基本手技の技術の向上を目指す② 姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを30分で施術
15	期末試験対策：バランス整体基本手技の技術の向上を目指す③ 姿勢分析・動診、軽擦～腹臥位・仰臥位～軽擦までを30分で施術
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校							
	令和 6年度 整体セラピスト学科											
授業科目名	ボディケア実習5					担当者名	蓑田 のり子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次			
単位数			1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32						
授業概要	バランス整体の基本手技・姿勢分析を学ぶ サロンシミュレーションにおける顧客満足度をアップする施術にむけて更に腹臥位・仰臥位の手技をマスターする											
到達目標	姿勢分析などからも症状を把握し、ストレッチなども入れた施術の構成を考えることができる											
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する											
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授業計画
1	臨床現場で使える手技を学ぶ① 脊柱傍線部・膀胱経2ラインへのアプローチ
2	臨床現場で使える手技を学ぶ② 開脚しての大腿部押圧、膝窩部へのアプローチ、下腿部揉捏
3	臨床現場で使える手技を学ぶ③ 肩甲骨部の強擦、後頭骨下縁部押圧
4	臨床現場で使える手技を学ぶ④ アキレス腱の伸長、大胸筋付着部へのアプローチ、頸部牽引を学ぶ
5	臨床現場で使える手技を学ぶ⑤ 仰臥位での上肢へのアプローチに母指圧、手関節牽引、把握圧を使う
6	腹臥位でのストレッチ法を学ぶ① 膝関節屈曲で大腿四頭筋を伸ばす、足関節背屈でアキレス腱を伸ばす
7	腹臥位でのストレッチ法を学ぶ② 肩関節伸展・肘関節伸展で上腕二頭筋を伸ばす、肩関節水平伸展で大胸筋を伸ばす
8	仰臥位でのストレッチ法を学ぶ① 股関節屈曲・膝関節伸展でハムストリングスを伸ばす、股関節内転・内旋で中殿筋・梨状筋・大腿筋膜張筋を伸ばす
9	仰臥位でのストレッチ法を学ぶ② 肩関節水平屈曲で三角筋を伸ばす、頸部前屈で僧帽筋・肩甲挙筋を伸ばす、頸部側屈で斜角筋を伸ばす
10	腹部へのアプローチ法を学ぶ① ソーステストからの大腰筋調整、トーマステストからの大腰筋調整
11	サロンシミュレーションの事前準備、導線の確認と誘導の仕方を学ぶ
12	腹部へのアプローチ法を学ぶ② 腹直筋を緩める、股関節屈曲位で腸骨筋を緩める
13	期末試験対策：基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)① 姿勢分析・動診、腹臥位・仰臥位の施術 時間計測25分
14	期末試験対策：基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)② 姿勢分析・動診、腹臥位・仰臥位の施術 時間計測25分
15	期末試験対策：基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)③ 姿勢分析・動診、腹臥位・仰臥位の施術 時間計測25分
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校							
	令和 6年度 整体セラピスト学科											
授業科目名	ボディケア実習6					担当者名	蓑田 のり子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次			
単位数			1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
						32						
授業概要	バランス整体の基本手技・姿勢分析を学ぶ サロンシミュレーションにおける顧客満足度をアップするため側臥位の手技とストレッチ法を学ぶ。											
到達目標	姿勢分析などからも症状を把握し、ストレッチなども入れた施術の構成を考えることができる											
成績評価	出席状況、授業態度、小テスト、定期試験及び追・再試験の結果で評価する											
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	バランス整体療法	ナショナル整体学院 事務局	
参考図書	ボディ・ナビゲーション	Andrew Biel	医道の日本社

回数	授業計画
1	側仰臥位の手技を修得する① 前腕を使って大腿筋膜張筋を押圧し緩める
2	側仰臥位の手技を修得する② 腹臥位での臀部7点押しを側臥位で行い緩める
3	側仰臥位の手技を修得する③ 両母指で腹横筋・腰方形筋を押圧して緩める
4	側仰臥位の手技を修得する④ 手刀を使って前鋸筋を緩める
5	側仰臥位の手技を修得する⑤ 肩甲骨を把持し回旋させて動きを良くする
6	側仰臥位の手技を修得する⑥ 頸部を側屈させて僧帽筋・斜角筋を緩める
7	側仰臥位の手技を修得する⑦ 大腿筋膜張筋から斜角筋までの手技を通して学ぶ
8	側仰臥位のストレッチ法を修得する① 肩関節水平伸展で上腕三頭筋・大胸筋を緩める
9	側仰臥位のストレッチ法を修得する② 股関節内転・伸展で大腿筋膜張筋を緩める
10	側仰臥位のストレッチ法を修得する③ 肩甲骨を下制する
11	サロンシミュレーションの事前準備、導線の確認と誘導の仕方を学ぶ
12	側仰臥位のストレッチ法を修得する④ 頸部を側屈させて僧帽筋・斜角筋を緩める
13	側仰臥位のストレッチ法を修得する⑤ 上腕三頭筋から斜角筋までのストレッチの反復練習
14	期末試験対策：基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)① 姿勢分析・動診、腹臥位・側臥位・仰臥位の施術 時間計測25分
15	期末試験対策：基本技術の向上を目指す(ストレッチは導入しない)② 姿勢分析・動診、腹臥位・側臥位・仰臥位の施術 時間計測25分
16	期末試験 まとめ

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	○	九州医療スポーツ専門学校					
	令和 6年度 整体セラピスト学科									
授業科目名	ボディケア実習7				担当者名	蓑田 のり子				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次		
単位数				1	授業時間数	前期	後期	前期	後期	
授業概要	マラソンランナーのケアを学ぶ。多くの施術を経験することで対応力を身につけ顧客満足度をアップし「ありがとう」と言われる経験を積む。 「三方良し」の精神で地域に貢献できることをチームとして考え、実践する。									
到達目標	①実践を通して学び、店舗運営やリーダーシップを発揮する現場力を身につける ②社会人基礎力を身につける									
成績評価	原則として、出席状況・授業態度・小テスト・定期試験および追・再試験の結果で評価する									
その他	蓑田 のり子 (整体院において整体セラピストとして勤務)									

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	魚町銀天街におけるサロンシミュレーション①
2	魚町銀天街におけるサロンシミュレーション②
3	魚町銀天街におけるサロンシミュレーション③
4	若松みなと祭りにおける施術・接遇を実践で学ぶ①
5	若松みなと祭りにおける施術・接遇を実践で学ぶ②
6	若松みなと祭りにおける施術・接遇を実践で学ぶ③
7	魚町銀天街におけるサロンシミュレーション④
8	魚町銀天街におけるサロンシミュレーション⑤
9	魚町銀天街におけるサロンシミュレーション⑥
10	整体ブースを出店し実践で学ぶ①
11	北九州マラソン2025におけるケアブースでのケアについて学ぶ① 肩甲骨ストレッチ
12	北九州マラソン2025におけるケアブースでのケアについて学ぶ② 肩甲骨ストレッチ 実技試験
13	北九州マラソン2025におけるケアブースでのケアについて学ぶ③ 股関節ストレッチ
14	北九州マラソン2025におけるケアブースでのケアについて学ぶ④ 股関節ストレッチ 実技試験
15	北九州マラソン2025におけるケアブースでのケアについて学ぶ⑥ 下腿ストレッチ 実技試験 期末試験 解答・解説、まとめ
16	